

令和6年度入学 盛岡短期大学部 一般選抜 生活科学科 試験問題の出典

種別	大問番号	著者名	著作物名	書名等	版元
小論文	生活デザイン 課題文1	朝日新聞社	天声人語	朝日新聞 2023 年 4 月 23 日朝刊 一部改変 ※朝日新聞社に無断で転 載することを禁じる 24-1174	朝日新聞社
	生活デザイン 課題文2	荒木 圭子	ステレオタイプを考え る：東海大学新聞WEB版 2016年11月1日付	<a href="https://www.tokainewsp
ress.com/contents.php?i
=1264">https://www.tokainewsp ress.com/contents.php?i =1264 より 一部改変	東海大学
	食物栄養学 図1	内閣府大臣 官房政府広 報室（政府 広報オンラ イン）	今日からできる！家庭で できる食品ロス削減 2023 家庭系食品ロスの内訳	<a href="https://www.gov-online.
go.jp/useful/article/2013
03/4.html">https://www.gov-online. go.jp/useful/article/2013 03/4.html より 一部改変 農林水産省および環境省 「令和3年度推計」より 作図	内閣府大臣 官房政府広 報室（政府 広報オンラ イン）

令和 6 年度 一般選抜

短期大学部

小 論 文 (90 分)

学 科・専 攻 名	ページ
生活科学科 生活デザイン専攻	1 ～ 2
生活科学科 食物栄養学専攻	3 ～ 4
国際文化学科	5 ～ 7

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 志望する学科・専攻により問題並びに解答用紙が異なるので注意しなさい。
- 3 この問題冊子は 7 ページあります。なお、下書き用紙が 2 枚あります。
- 4 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督員に知らせなさい。
- 5 解答は、必ず黒鉛筆(シャープペンシルも可)で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 6 解答用紙(各学科・専攻別)には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 7 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 8 下書きの必要があれば、下書き用紙を利用してかまいません。
- 9 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

次の2つの課題文を読み、あとの問いに答えなさい。

課題文1

緑に紫、黄色とカラフルなランドセルが百貨店の売り場に並んでいた。来春の入学準備がもう始まっているのだとか。赤いランドセルを眺めていたら、店員に「お嬢さんですか」と話しかけられた。何年も昔の、我が子のランドセル選びを思いだした。入学前の兄についてきた幼い次男は真っ赤なランドセルを背負い、これにしたいとご満悦。つい「女の子がよく選ぶ色かもよ」と言ってしまったのだ。後悔が残る。「男の子／女の子だからと思うことがあるか」。小学5、6年生を対象にこんな質問をしたところ、4割が「そう思う」と答えた。東京都が先月公表した。この子どもたちは、親や教師から「男の子／女の子なんだから」と言われた経験を持つ割合が高かったそうだ。固定観念は時に現実をむしろ歪める。「女性は数字に弱い」という偏見を意識しながら数学試験に臨んだ女性は、点数が低くなるという実験結果がある。能力の発揮を妨げる「ステレオタイプ[※]脅威」と呼ばれる現象だ。性別だけでなく、人種や年齢などでも同様の結果が出るという。提唱した社会心理学者クロード・スティール氏は著書『ステレオタイプの科学』で、この脅威が「あらゆる人に何らかの影響を与えている」と述べた。「かばんの色」というささいに思える出来事も、地続きなのだろう。次男は翌年、灰色のランドセルを選んだ。何げない大人の一言が、もしかしたら子どもの道を狭めていないか。そんなことを思い返してしまう季節である。

(『朝日新聞』2023年4月23日付朝刊、「天声人語」より、一部改変)

課題文2

以下の文章を読んで、状況を想像してみてください。

「路上で交通事故がありました。大型トラックがある男性とその息子をひきました。父親は即死しました。息子は病院に運ばれました。病院の外科医は『これは私の息子!』と悲鳴を上げました」

すんなり納得できたでしょうか？

これは、ジェンダーに関するステレオタイプを試すアクティビティーです。

ジェンダーというのは、文化的・社会的に規定された性のあり方、すなわちその社会で決められた「女性はこうあるべき、男性はこうあるべき」といったような性のあり方です。たとえば、女性は家事・育児をする、男性は外で働くといったようなものが挙げられるでしょうか。

最初の文章では、外科医が母親であることに気づかないとなかなか意味が通りません。多くの人が最初は「あれ？ どういうこと？」と思ったのではないのでしょうか？

実際、日本における外科医の中での女性の割合は、2014年時点で6.7%（形成外科医、整形外科医を除く。日本医師会男女共同参画委員会、2014年）とのことです。

この数字を見ると、「外科医」と聞いたときにまず男性を思い浮かべるのは、合理的な判断だといえます。しかし、男性が100%ではないときちんと認識していないと上記の文章を理解できず、いつまでもモヤモヤすることになります。

日本にはこのようなジェンダーに基づくステレオタイプが、さまざまなところで見られます。たとえば、テレビコマーシャル、教科書、絵本などなど。

最近、私が気になっているのは、『桃太郎』などの昔話で、必ず「お爺さんとお婆さんが……」と、お爺さんが最初に出てくることです。なぜ「お婆さんとお爺さんが……」ではないのでしょうか。

ステレオタイプは、自分の可能性を狭めてしまうこともあります。「男性の外科医」というステレオタイプが強ければ強いほど、外科医と女性が意識の中で結びつきません。すると、外科医になりたいと思う女の子は少なくなってしまう。

自分の可能性を広げるためにも、身の回りにあるステレオタイプについて考えてみませんか？

(荒木圭子『ステレオタイプを考える：東海大学新聞 WEB 版』2016 年 11 月 1 日付、<<https://www.tokainewspress.com/contents.php?i=1264>>より、一部改変)

注 ステレオタイプ：一定の社会的現象について、ある集団内で共通に受け入れられている単純化された固定的な概念やイメージを表わすもの。

問 1 2つの課題文を読み、ステレオタイプが及ぼす人への影響はどのようなものと述べられているかを、50 字以内で説明しなさい。

問 2 あなたが日常生活で感じるステレオタイプについて、2つの課題文を踏まえながら自分の考えを 600 字以上 700 字以内で述べなさい。必ず 1 つは課題文と異なる例を挙げること。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

日本では、食べられるのに捨てられる食品「食品ロス」の量が年間 523 万トン(令和 3 年度推計)と推計されており、日本の人口 1 人当たり毎日おにぎり 1 個(114 g)を捨てている計算になります。日本では、家計における食費は消費支出の中で 4 分の 1 を占めています。食料自給率(カロリーベース)は 38 % で、食料の多くを海外からの輸入に依存しています。

また、世界の食料廃棄量は年間約 13 億トンで、人の消費のために生産された食料のおおよそ 3 分の 1 を廃棄しています。

このように、食料を大量に生産、輸入しているのに、その多くを捨てている現実があるのです。

大量の食品ロスが発生することにより、様々な影響や問題があります。食品ロスを含めた多くのごみを廃棄するため、ごみ処理に多額のコストがかかっています。また可燃ごみとして燃やすことで、CO₂ 排出や焼却後の灰の埋め立て等による環境負荷が考えられます。

経済の観点では、食料を輸入に頼る一方で、多くの食料を食べずに廃棄している状況は無駄があります。人や社会への観点では、多くの食品ロスを発生させている一方で、7 人に 1 人の子どもが貧困で食事に困っている状況です。

私たち一人ひとりが食べものをもっと無駄なく、大切に消費していく必要があります。

日本の食品ロス量年間 523 万トンのうち、事業系は 279 万トンで、主に規格外品、返品、売れ残り、食べ残しなど、家庭系からは 244 万トンで、主に食べ残し、手つかずの食品(直接廃棄)、皮の剥きすぎなど(過剰除去)が発生要因です。

家庭系の食品ロスについて、消費者庁が平成 29 年(2017 年)に徳島県で実施した食品ロス削減に関する実証事業の結果では、まだ食べられるのに捨てた理由として、(1) 食べ残し 57 %、(2) 傷んでいた 23 %、(3) 期限切れ 11 % (賞味期限切れ 6 %、消費期限切れ 5 %) の順で多いことが分かりました。

食品ロスを減らすためには、事業者や家庭の皆様一人ひとりが意識して、国民全体で食品ロスの削減を目指すことが大切です。

(内閣府大臣官房政府広報室『今日からできる! 家庭でできる食品ロス削減』, 2023, <<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201303/4.html>> より, 一部改変)

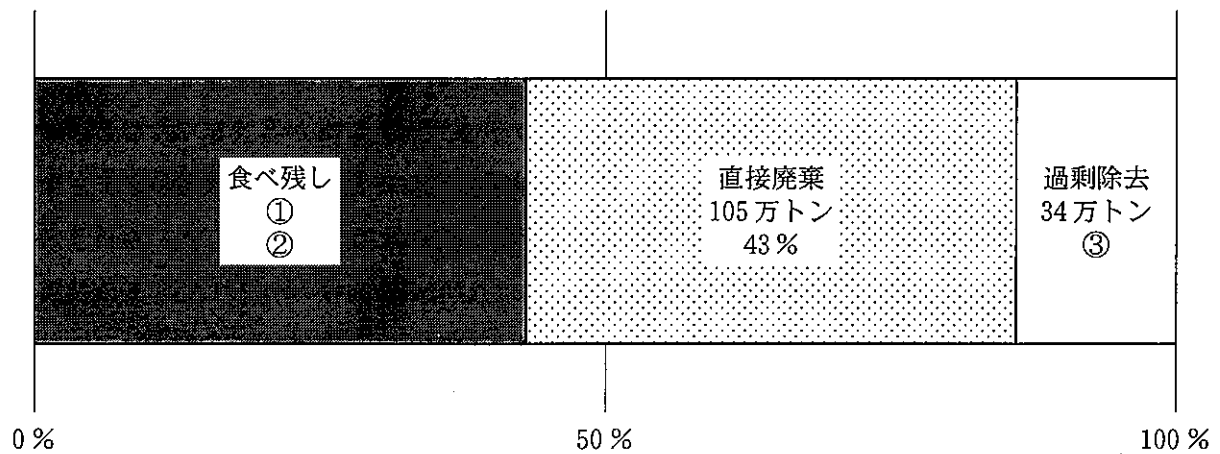


図1 家庭系食品ロスの内訳(農林水産省および環境省「令和3年度推計」より作図)

問1 図1は、農林水産省および環境省の「令和3年度推計」を参照に作成した「家庭系食品ロスの内訳」である。図中の①～③にあてはまる量または割合を求めなさい。なお、解答の数値は、小数第1位を四捨五入して整数値とし、単位をつけて答えなさい。

問2 問題文の内容を踏まえて、食品ロスを減らすための対策として、あなたができることや考えについて、具体例をあげながら600字以内で述べなさい。